

授業科目名	【G】 教養講義（メディア論）		区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
			選択					
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	マスメディアと人間を考える				担当者	見崎 浩一		
授業概要	【概要】	<p>インターネットの登場でメディアの世界は激変し、現在も変化し続けています。情報伝達やコミュニケーションツールとして日々接するメディアの変容は、私たちの生活や社会にも大きな影響を与えることになっています。</p> <p>この授業では、さまざまなメディアの進化とその影響について掘り下げ、メディア社会、メディア文化がどのように形作られてきたかを学びます。将来のメディアのあり方についても考察し、自らのメディア利活用のあり方を見つめ直すことにもつなげます。</p> <p>【実務経験を活かした授業】</p> <p>新聞に加え、テレビやインターネットなどの多メディアでの実務経験を有する教員が、メディアの進化とその社会への影響について学生たちと探求します。学生たちはマスメディアの変容や将来の方向性についても考察し、自らのメディア利用について考え直す機会も得ます。</p>						
	【到達目標】	<p>① メディアの歴史と進化を踏まえ、その役割と影響に関する基本的な知識を習得することができる。</p> <p>② ネットメディアの台頭と伸長が伝統メディアに与えている影響を理解することができる。</p> <p>③ 多様なメディアによって形作られている情報社会において、メディアからの情報を適切に評価し、活用することができる。</p>						
履修条件	特にありません。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	「アクティブラーニング演習(メディアリテラシー編)」も併せて受講すると理解がより深まります。							
教科書	藤竹暁、竹下俊郎(2018年)『図説 日本のメディア[新版]伝統ディアはネットでどう変わるか』NHK出版							
参考書	授業の中で適宜紹介します。							
評価方法	各週の振り返りと学習の成果物(54%)、最終課題の準備・発表(26%)と作成した最終成果物(20%)							
フィードバック方法	Google Classroomを使用し、提出された課題についてのコメント等のフィードバックをします。							
評価基準	授業内容についてよく理解していると判断した学生にはその程度に応じてSまたはA、一部不十分な箇所がある学生についてはBまたはCとします。授業内容への理解自体が不十分な学生については、その程度に応じてDまたはEとします。全欠席など評価不能の場合にはFとします。							

授業科目名	【G】 教養講義（メディア論）	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		選択				
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス インTRODクシヨN メディアとは 予習： メディアの概念と基本的な定義を確認する(60分程度) 復習： メディアの定義や役割についてまとめる(120分程度)					
2	メディア激変時代 予習： 教科書(P13～P26)を通読し、関連事項を調べる(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
3	新聞① 一般紙の発達と市場構造 予習： 教科書第1章新聞を通読する(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
4	新聞② 新聞社のネット戦略 予習： 複数の新聞社のインターネット展開策を調べる(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
5	テレビ① 地上テレビ放送の発達過程 予習： 教科書第2章第1節テレビを通読する(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
6	テレビ② テレビ局のネット戦略 予習： 複数のテレビ局のインターネット展開策を調べる(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
7	ラジオ ラジオの発達とネット戦略 予習： 教科書第2章第2節ラジオを通読する(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
8	雑誌 雑誌の盛衰と新たな戦略 予習： 教科書第3章雑誌を通読する(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
9	広告 マスコミ広告の変遷 予習： 教科書第4章広告を通読する(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
10	映画・音楽 予習： 教科書第5章映画・音楽を通読する(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
11	ケータイからスマホへ 予習： 教科書第6章ケータイからスマホへを通読する(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
12	ネットメディア① 個人による情報発信 予習： 教科書第7章ネットメディアを通読する(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
13	ネットメディア② インターネットとジャーナリズム 予習： ネットメディアの影響力をPowerPointでまとめる(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
14	メディアと社会 予習： メディアと社会の関係に関する研究や論文を読む(60分程度) 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
15	未来のメディア 予習： メディアの未来に関する専門家の見解や予測を調査し、考えをまとめる 復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)					
その他	新聞の1面に掲載されている記事を毎日読むこと。あるいはNHKのニュース(19時か21時)を毎日視聴すること。あるいはインターネットのニュース(Yahoo!ニュース)に1日10分以上、毎日接すること。 GoogleClassroomやGoogleフォーム等を活用します。					